

「酒気残り」には、さらなる落とし穴があり、飲酒後一晩たってもアルコールが抜けきらないケースもある。別の実験で男女14人に約2時間の飲酒をもらい、その後8時間以上の睡眠を伴う休息をとった後の身体の状態を調べたところ、14人全員が「酔っている感覚はなく、車の運転はできる」と認識していたが、5人の呼気から基準値を超えるアルコールが検出された。

アルコールはこの5人を含む10人の尿からも検出され、この10人のうち7人には、目の網膜の感度低下がみられたという。

2021年6月28日、飲酒運転のトラックが、居眠りして、千葉県八街市で下校途中の児童の列に突っ込んで、5人を死傷させた事故があった。この事故の被告から、酒がやめられない病的なものを感じる人もいるかもしれない。しかし、金光教授の実験によれば、誰でも飲酒運転や酒気帯び運転をしてしまう危険がある。誰だって「飲酒運転は悪いこと」と頭では理解している。怖いのは、法律でも、警察でもない。怖いのは、自分自身だ、「飲んだら乗るな」では遅い、「次の日に乗るなら飲むな」を肝に銘じたい。

飲酒死亡事故件数の発生時間帯別比較

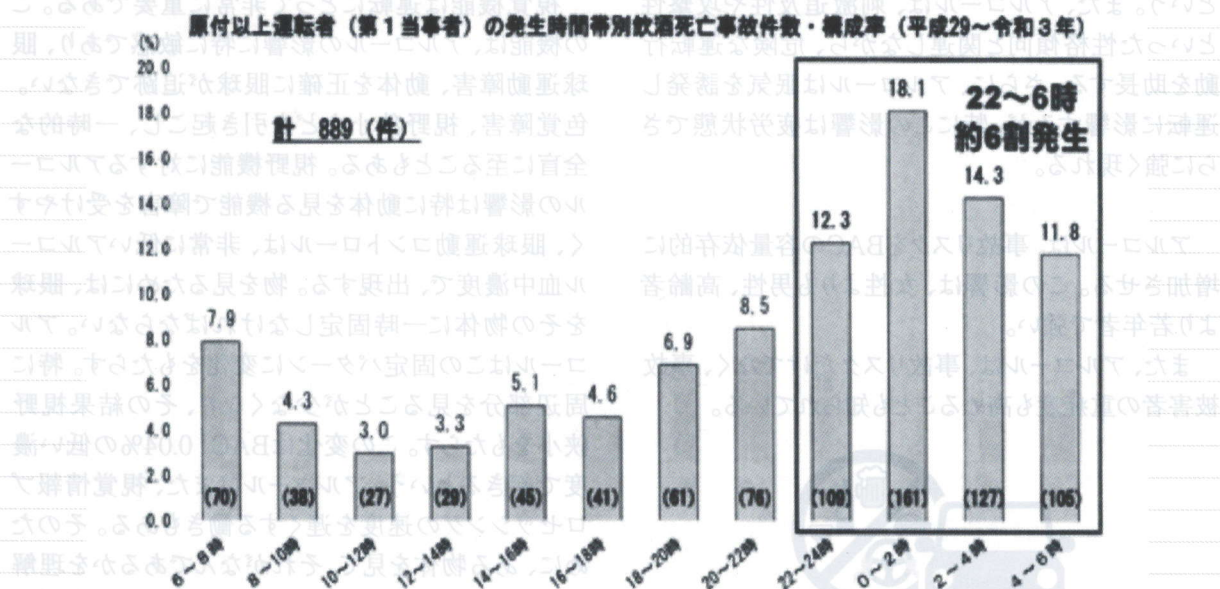


図2 (出典 警察庁ホームページ)

飲酒死亡事故件数の飲酒状況別比較

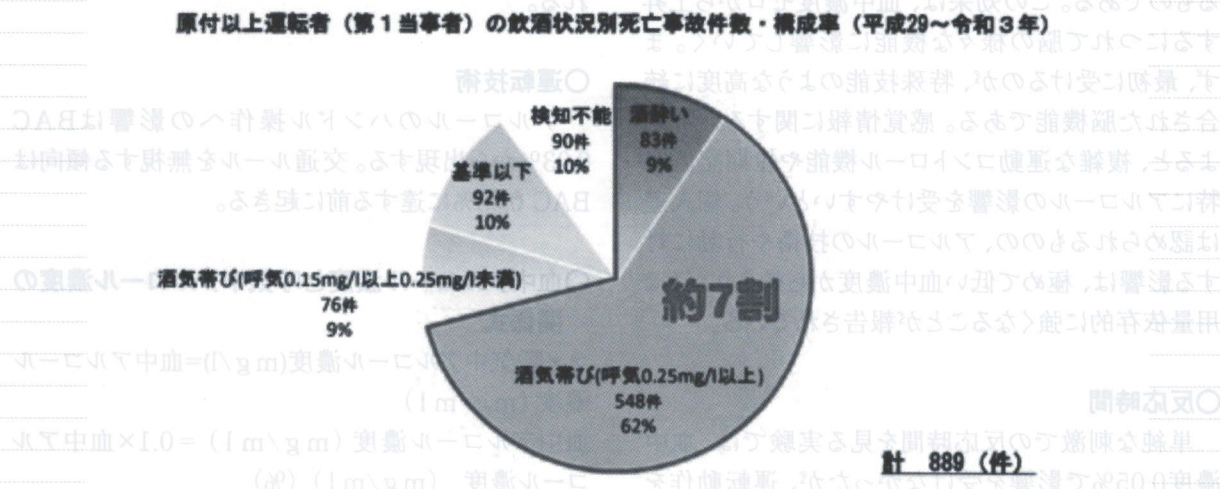


図3 (出典 警察庁ホームページ)

アルコールの運転に及ぼす影響について、特集「飲酒運転対策プロジェクト」で、樋口進教授（独立行政法人 国立病院機構 久里浜アルコール症センター）は、以下のように総説している。

個人差は認められるものの、アルコールの運転技術や行動に対する影響は、極めて低いアルコール血中濃度（BAC）から始まり、ほぼ用量依存的に強くなる。例えば、反応時間はBAC 0.02%、トラッキング技能0.02%、注意力0.01%未満、ハンドル操作0.03%、視覚機能0.04%といった低濃度から障害を受け、規制無視は、0.05%から始まると言われている。

運転技能障害はBACに依存し、普段の飲酒パターンの影響は小さい。二日酔いは、アルコールが体から完全消失しても3時間は、運転に影響があるという。また、アルコールは、刺激迫及性や攻撃性といった性格傾向と関連しながら、危険な運転行動を助長する。さらに、アルコールは眠気を誘発し運転に影響するが、特にこの影響は疲労状態でさらに強く現れる。

アルコールは、事故リスクをBACの容量依存的に増加させる。この影響は、女性よりも男性、高齢者より若年者で強い。

また、アルコールは、事故リスクだけでなく、事故被害者の重症度も高めることも知られている。



○アルコールの運転動作への影響

アルコールの急性効果の中心は中枢神経に対するものである。この効果は、血中濃度ゼロから上昇するにつれて脳の様々な機能に影響していく。まず、最初に受けるのが、特殊技能のような高度に統合された脳機能である。感覚情報に関する研究によると、複雑な運動コントロール機能や短期記憶が特にアルコールの影響を受けやすいという。個人差は認められるものの、アルコールの技術や行動に対する影響は、極めて低い血中濃度から始まり、ほぼ用量依存的に強くなることが報告されている。

○反応時間

単純な刺激での反応時間を見る実験では、血中濃度0.05%で影響を受けなかったが、運転動作を

想定した複雑な刺激では、反応延長時間がBAC 0.02%から認められた。

○トラッキング

単純な追跡トラッキングだけではなく、さらに別のタスクを追加するとBAC 0.02%程度からアルコールの影響が現れると報告されている。

○注意力

集中力タスクにスピードや正確さが求められた場合、アルコールの影響は大きく、BAC 0.005%～0.009%でその影響が現れた。

○視覚機能

視覚機能は運転にとって非常に重要である。この機能は、アルコールの影響に特に敏感であり、眼球運動障害、動体を正確に眼球が追跡できない。色覚障害、視野狭小などを引き起こし、一時的な全盲に至ることもある。視野機能に対するアルコールの影響は特に動体を見る機能で障害を受けやすく、眼球運動コントロールは、非常に低いアルコール血中濃度で、出現する。物を見るためには、眼球をその物体に一時固定しなければならない。アルコールはこの固定パターンに変化をもたらす。特に周辺部分を見ることが少なくなり、その結果視野狭小をもたらす。この変化はBAC 0.04%の低い濃度で起きるといふ。アルコールはまた、視覚情報プロセッシングの速度を遅くする働きもある。そのため、ある物体を見て、それがなんであるかを理解するまでの物体への固定時間が延長する。素面に比べて飲酒していると、道路標識の識別により長い時間がかかるか、または、より近づかないと識別できなくなる。特に暗い場合は、この傾向が増強される。

○運転技術

アルコールのハンドル操作への影響はBAC 0.03%から出現する。交通ルールを無視する傾向はBAC 0.05%に達する前に起きる。

○血中アルコール濃度と呼気中アルコール濃度の関係式

$2 \times \text{呼気中アルコール濃度}(\text{mg/l}) = \text{血中アルコール濃度}(\text{mg/ml})$

$\text{血中アルコール濃度}(\text{mg/ml}) = 0.1 \times \text{血中アルコール濃度}(\text{mg/ml})(\%)$

○酒気帯び運転の下限の基準値

呼気中アルコール濃度(mg/l)=0.15 (mg/l)
は、血中アルコール濃度=0.3(mg/ml)
あるいは0.03 (%)で表される。

○酒気帯運転の上限の基準値

呼気中アルコール濃度(mg/l)=0.25 (mg/l)
は、血中アルコール濃度=0.5(mg/ml)
あるいは0.05 (%)で表される。

||||| アルコールの運転動作への影響 (まとめ) |||||

規制濃度よりも低い濃度からアルコールは運転に影響する。

- 注意力 0.01%以下
- 反応時間 0.02%
- トラッキング技能 0.02%
- ハンドル操作 0.03% → 規制濃度下限に相当
- 視覚機能 0.04%
- 交通ルールを無視する傾向 0.05%に達する前 → 規制濃度上限に相当



酒気残りとは、なんでしょう

酒を飲みすぎた日の翌日の頭痛や胃のむかつきなどの不快い症状(二日酔い)は、多くの人に経験があるだろう。

一方の「酒気残り」は酔いの自覚が薄いにもかかわらず、体内に酒が残っている状態を指す。飲酒運転を予防するため札幌医科大学医学部法医学講座

松本博志教授は「1時間に分解できるアルコール量は4g」と規定している。酒量が増えると消失時間も長くなる。二日酔いのような不快症状がなくても酒気が残っている可能性は高いので、十分注意が必要である。

○飲酒したアルコール量の計算方法

$$\text{アルコール量 (g) (純アルコール量)} = \text{アルコール飲料の容量 (ml)} \times 0.01 \times \text{アルコール濃度 (\%)} \times \text{密度 (0.8g/ml)}$$

酒の種類別5時間で分解できるアルコール量の目安

アルコール飲料の種類	容量	濃度	アルコール量 (ml)	アルコール量 (g)
ビール ジョッキ 一杯	500ml	5%	25ml	20g
日本酒 一合	180ml	12%	21.6ml	17.3g
ウイスキーダブル 一杯	60ml	43%	25.8ml	20.6g
ワイン 小グラス 二杯	200ml	11%	22ml	17.6g
酎ハイ 一缶	350ml	7%	24.5ml	19.6g
焼酎 コップ半分	100ml	25%	25ml	20.0g

酒気残りを完全になくせるのは時間だけ、仮眠をとれば早く抜けるとか、水を大量に飲んだり、サウナに行けば早く抜ける。ウコンやしじみ汁など肝臓に良い食材をとれば抜けるとか間違った酔い覚まし方法も言われているが信じてはいけない。酒気残りを完全になくせるのは、時間だけである。

体内に入ったアルコールは最初に肝臓で分解され、さらに筋肉や心臓で分解される。年齢や性別、

体質などによって個人差はあるものの、アルコールの分解は、1時間当たり4gが一つの目安。体がアルコールを分解するのにかかる時間は、ビール500mlをとりあえず飲んで、さらに日本酒1合飲むと分解するのに10時間かかってしまう。

アルコールの分解には思いのほか時間がかかることを覚えておき、少しやすんだからといって安易に運転しないことです。

表と計算式の利用方法

酒を飲んだ当日は、代行運転で、酒気帯び運転を避けても、次の日に用事があり、運転して、出かけるのは注意を要する。飲んだ酒の量と飲んでからの経過時間から考えて、残っていないか計算が必要となる。意外と分解に時間がかかることを認識する必要がある。特に、深酒をしたとき、二日酔いの時は、午前中は、運転できない、あるいは夕方まで

運転できないということも起こりうる。仮眠しても、水を飲んでも、サウナで汗をかいてもアルコールは抜けないことに注意する必要がある。

アルコールの分解、濃度低下に寄与できるのは、時間だけと今までの常識にとらわれない考え方を持つ必要がある。

参考文献

JA共済 presens「なるほど交通安全」第184回 酒気残り運転

総務省 ホームページ

警察庁 ホームページ

特集「飲酒運転対策プロジェクト」アルコールの基礎知識

札幌医科大学医学部法医学講座 松本博志

特集「飲酒運転対策プロジェクト」アルコールの運転に及ぼす影響について

独立行政法人 国立病院機構 久里浜アルコール症センター 樋口 進

2021年 11月 28日 時事通信 時事ドットコムニュース 連載

ニュース深掘り え、私が飲酒運転? 自覚なき「酒気残り運転」の恐怖とは

ジャフメイト 2022 1月号 P35 酒気残りのメカニズム



令和4年度 部活動助成金の贈呈式

全日制

全日制では、関東大会出場が決まった体操部、山岳部に贈呈されました。



会長 各部の代表者の皆様

体操部

中村恵深 相澤圭祐 根本内輝生 高橋拓海

山岳部

君塚悠馬 今泉格 白野直哉

定時制

定時制では、千葉県高等学校 春季定通体育大会において、
全国大会出場が決まった陸上競技の部、柔道の部、卓球の部に贈呈されました。



会長 校長 生徒 顧問の先生の皆様

陸上競技の部

男子5000mの部 第二位 木村奏良 (22分00秒97)

卓球の部

個人 5位入賞 小野龍一

柔道の部

団体(高橋和 矢嶋 辻)優勝

男子個人-75kg級 優勝 高橋和喜

男子個人-65kg級 準優勝 矢嶋優也

令和4年度 進路状況

全日制の課程(2023年1月11日現在)

就職内定先

【工業化学科】 旭ダイヤモンド工業(株)千葉工場、アヅマ(株)、(株)ADEKA千葉工場、出光興産(株)、宇部マテリアルズ(株)、かどや製油(株)袖ヶ浦工場、広栄化学(株)千葉工場、三和倉庫(株)、JFEテクノリサーチ(株)、白鳥製薬(株)、親和パッケージ(株)千葉事業所、(株)住化分析センターテクニカルソリューション本部千葉ラボラトリー、住友精化(株)千葉工場、太平電業(株)、ダウ・東レ(株)千葉工場、多木化学(株)、DIC(株)千葉工場、東邦化学工業(株)千葉工場、日産化学(株)袖ヶ浦工場、日新化工(株)、日本製鉄(株)東日本製鉄所 君津地区、日本化薬(株)東京工場、日本乳化剤(株)、PDRファーマ(株)、UBE(株)千葉研究所、吉野石膏(株)千葉第三工場、理研ビタミン(株)千葉工場

【電子機械科】 (株)ADEKA千葉工場、出光興産(株)、(株)荏原エリオット、(株)尾崎製作所千葉工場、高圧ガス工業(株)佐倉工場、コベルコ建機日本(株)、(株)駒井ハルテック、山九(株)君津支店、ジャパンマリユニテッド(株)横浜事業所磯子工場、昭和産業(株)船橋工場、住友建機(株)、ダウ・東レ(株)千葉工場、(株)タクト、千葉共同サイロ(株)、千葉鋼材(株)、チヨダウーテ(株)、デンカ(株)千葉工場、東邦化学工業(株)千葉工場、トヨタ自動車(株)、トヨタカラー千葉(株)、日産自動車(株)、日本製鉄(株)東日本製鉄所君津地区、パナソニックSSサービス(株)、日野自動車(株)、(株)フジクラ佐倉事業所、(株)前田製作所千葉工場、(株)ミズレック、三井化学(株)市原工場、三井化学(株)茂原分工場、宮地エンジニアリング(株)、理研ビタミン(株)千葉工場、(株)アスティペイント、畠山建設(株)

【電気科】 HPCシステムズ(株)、AGC(株)千葉工場、(株)NTT東日本-南関東、(株)荏原エリオット、(株)荏原製作所、大崎電設(株)、鹿島建物総合管理(株)、(株)関電工、一般財団法人関東電気保安協会、君津共同火力(株)、(株)クボタ、京成電設(株)、京成電鉄(株)、コスモ石油(株)、JR東日本メカトロニクス(株)、JFEコンテナ(株)千葉工場、JFEテクノリサーチ(株)、JFE溶接鋼管(株)、(株)ジャパンペール、昭和電工エレクトロニクス(株)、ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ(株)稲沢、(株)タワーライン・ソリューション、東京地下鉄(株) (東京メトロ)、東京電設サービス(株)、東京電力パワーグリッド(株)、東京電力リニューアブルパワー(株)、東京パワーテクノロジー(株)、(株)東光高岳、東芝エレベータ(株)東関東支社、東電タウンプランニング(株)、日清製粉(株)千葉工場、日鉄環境(株)東日本支店 君津地区、日鉄テックスエンジ(株)東日本支店 (君津地区)、(株)ニッポン千葉工場、東日本電気エンジニアリング(株)、富士電機(株)千葉工場、三井製糖(株)、三井化学(株)茂原分工場、(株)明電舎、(株)明電エンジニアリング、明電ファシリティーズ(株)、理研ビタミン(株)千葉工場、理研電線(株)千葉工場、友和興業

【情報技術科】 アヅマ(株)、浮間合成(株)佐倉製造事業所、(株)NTT-ME、鹿島建物総合管理(株)、住友精化(株)千葉工場、デンカ(株)千葉工場、東京パワーテクノロジー(株)、トッパン・フォームズ・オペレーション(株)、(株)ナレッジフロー、日鉄物流君津(株)、日本製鉄(株)東日本製鉄所君津地区、PDRファーマ(株)、富士電機(株)千葉工場、(株)朋栄 佐倉R&Dセンター、(株)峰製作所

【理数工学科】 大東製糖(株)、丸善石油化学(株)千葉工場、(株)ヤマナカゴーキン

【公務員】 東京都職員(電気)

進学先

【大学・短大】 金沢工業大学(工学部航空システム工学科)、敬愛大学(教育学部こども教育学科)、敬愛大学経済学部(経済学科)、国際学部(国際学科観光マネジメント専攻)、国士舘大学理工学部(まちづくり学系)、千葉経済大学経済学部(2名)、千葉工業大学工学部(機械工学科、機械電子創成工学科、電気電子工学科) 社会システム科学部(経営情報科学科 2名)、先進工学部(知能メディア工学科)、創造工学部(都市環境工学科)、千葉商科大学サービス創造学部(サービス創造学科)、東京工科大学デザイン学部(デザイン学科 視覚デザイン専攻)、東京情報大学総合情報学部(総合情報学科) 東京電機大学理工学部(理工学科生命科学系)、工学部第二部(機械工学科)、東京都市大学理工学部(機械システム工学科)、東京農業大学地域環境科学部(生産環境工学科)、東邦大学理学部(物理学科)、日本大学生産工学部(応用分子化学科2名、環境安全工学科2名、機械工学科2名、建築工学科、創生デザイン学科2名)、理工学部(精密機械工学科)、福山大学生命工学部(生物工学科)、千葉職業能力開発短期大学校(エネルギー制御科、航空機整備科、電子エネルギー制御科、電子情報技術科4名)、帝京短期大学ライフケア学科臨床検査専攻、東京経営短期大学こども教育学科

【高等専門学校】 木更津工業高等専門学校 電子制御工学科

【専門学校】 安房医療福祉専門学校看護学科、大原簿記公務員専門学校千葉校経理ビジネスコース、神田外語学院英語専攻科、国際理工カレッジ(Web・CGデザイン科、建築設計科2名、ゲームクリエイター科)、千葉県自動車大学校2名、千葉調理師専門学校調理高等国際科、千葉デザイナー学院(デザイン科3年制、WEBデザインコース)、千葉ビューティーアンドブライダル専門学校美容科、中央工学校昼間・3D CAD設計科、東京IT会計公務員専門学校千葉校ITビジネス学科情報処理コース、トヨタ東京自動車大学校2名、日本航空学園日本航空大学校石川航空ビジネス科学研修専攻コース3年制、日本自動車大学校自動車整備科、船橋情報ビジネス専門学校ITエンジニア科4年制

【高等技術専門学校】 市原高等技術専門学校(2名)、船橋高等技術専門学校

令和4年 寄付金のお礼とご芳名

寄付金は288名、寄付金合計は114万4千円でした。ありがとうございました。

卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名
旧職員	宇佐美 敏夫	M昭21	堤 信一	M昭39A	吉野 美知夫	E昭30A	前田 利幸	E昭45A	(匿名)
旧職員	勝田 茂	M昭21	山田 泰造	M昭39B	朽方 盛哉	E昭31A	荒井 実	E昭45C	上野 孝次郎
旧職員	關 敏昭	M昭24	上野 哲夫	M昭39B	M昭39B	E昭31A	鈴木 健史	E昭46A	高井 久
旧職員	中村 秀夫	M昭27B	戸田 治雄	M昭39B	野口 浩	E昭31A	堀切 昇一	E昭46A	湯浅 裕和
旧職員	布施 勝章	M昭28A	江沢 成正	M昭39B	M昭39B	E昭31B	菅澤 幸雄	E昭46B	E昭46B
旧職員	(匿名)	M昭28B	川島 俊彦	M昭40A	白井 正男	E昭31B	文倉 秀正	E昭46B	E昭46B
旧職員	森川 和	M昭29A	吉田 靖	M昭40A	永田 達明	E昭32A	(匿名)	E昭47C	大野(斎藤)良司
旧職員	越川 淳	M昭29B	豊田 照夫	M昭40B	野城 隆	E昭32A	山本 一	E昭53A	木村 義夫
C昭17	深山 謙治	M昭30A	川島 芳夫	M昭40B	渡辺 賢一	E昭32B	伊勢 匡男	E昭53A	佐久間 勝之
C昭24併B	足立 健貢	M昭30A	御園(山田)拓	M昭40C	大井 三吉	E昭32B	平野 郁朗	E昭53B	E昭53B
C昭25	川崎 栄	M昭30A	佐藤 文俊	M昭40C	柏木 貢	E昭33A	高山 英臣	E昭53B	E昭53B
C昭26A	佐川 晋也	M昭30B	安保 光雄	M昭40C	(匿名)	E昭33B	E昭33B	E昭54A	E昭54A
C昭27A	堀井 昭一	M昭31A	栗原 厚夫	M昭40C	川村 義郎	E昭33B	鈴木 清	E昭63A	(匿名)
C昭27B	秋葉 茂雄	M昭31B	韋 健二	M昭40C	並木 治雄	E昭33B	藤田 弘道	E昭63B	E昭63B
C昭27B	植草 光春	M昭31B	伊藤 誠之助	M昭41A	遠山 善太	E昭34A	京相 延志	E昭9A	E昭9A
C昭28A	宮川(丸島)昭夫	M昭32B	内山 清文	M昭41A	安井 信夫	E昭34B	石井 雅美	E昭9A	E昭9A
C昭29A	高橋 健一	M昭32B	中村 軍治	M昭41B	栗飯原 和雄	E昭34B	大橋 和夫	E昭24	E昭24
C昭29A	遠山 文夫	M昭33A	大木 公夫	M昭41B	(匿名)	E昭34B	海保 悟	I E昭52	I E昭52
C昭29A	遠山 文夫	M昭33A	吉田 稔	M昭41B	桑田 義雄	E昭34B	市東 廣明	I E昭52	I E昭52
C昭31B	糸井 幹	M昭34A	池田 善雄	M昭41B	鈴木 和宏	E昭34B	鈴木 甫	I E昭63	(匿名)
C昭32A	金児 宰	M昭34A	安田 昭次郎	M昭41B	田中 良徳	E昭34B	手島(山下)博嗣	I E平3	(匿名)
C昭32A	鈴木 敏正	M昭34B	宇野 昭房	M昭41C	吉野 武志	E昭35A	中村 正明	定E昭30B	嶋村 英男
C昭32A	宮内 潔	M昭34B	金子 賢二	M昭42A	水戸 信一	E昭36A	黒川 武夫	定E昭31A	近藤 哲夫
C昭33A	(匿名)	M昭34B	斎藤 進	M昭42B	中臺 道雄	E昭36B	伊藤 広孝	定E昭36	(匿名)
C昭33A	森 三郎	M昭34B	鈴木 偉夫	M昭42C	今井 聡	E昭36C	(匿名)	定E昭36	(匿名)
C昭33B	寺本 恒雄	M昭34B	菰田(山田)達夫	M昭42C	鳥飼(中村)光雄	E昭36C	(匿名)	定E昭36	(匿名)
C昭33B	中田 靖治	M昭34B	若林 整芳	M昭43B	(匿名)	E昭36C	深山 潔	定E昭37	古川 英之
C昭34A	小守 正憲	M昭35A	石井 義一	M昭43C	藤崎 和博	E昭37A	白井 昇	定E昭39	小沢 敬史
C昭34A	保坂 顕紀	M昭35A	伊藤 満	M昭44B	秋山 恵一郎	E昭37A	藤川 幸雄	定E昭40	鈴木 誠
C昭34B	小林(織田澤)迪子	M昭35A	北村(大野)嘉明	M昭44C	荒井 茂	E昭37C	田中 庸夫	定E昭43	元木 秀男
C昭34B	吉清 貴	M昭35A	宮代 次雄	M昭45B	伊原 美夫	E昭38A	西澤 正義	定E昭43	牛水 祥彦
C昭35A	金子 捷司	M昭35B	岩崎 守男	M昭46A	保坂 信昭	E昭38B	香焼 正利	定E平25	内川 武志
C昭35A	胡本 義清	M昭35B	大野 志郎	M昭46C	加藤 和義	E昭38B	土屋 憲司	定E平27	梅澤 利光
C昭35A	紅谷 正明	M昭35B	(匿名)	M昭47A	(匿名)	E昭38B	深山 博	定M昭32	能勢 實
C昭35B	菅澤(巖)昭治	M昭35B	滝口(坂井)宏	M昭47C	下世 孝行	E昭39A	岡田 悦郎	定M昭35	酒井 信男
C昭37A	齋藤 公彦	M昭35B	市東 宏	M昭48B	石神 啓二	E昭39A	小川 信輝	定M昭40	(匿名)
C昭37A	森田 尚	M昭35B	細矢 政臣	M昭49A	大野 圭一郎	E昭39B	梨本 晃	定M昭40	竹淵 功
C昭37B	石川 卯之助	M昭35B	稲葉(師田)貞幸	M昭55C	宮原 則之	E昭40B	岩井(大熊)猛和	定M昭42B	多田 清美
C昭37B	中村 勝博	M昭36A	伊藤 満	M昭56A	伊藤 克己	E昭41A	(匿名)	定M昭42B	高野 千四郎
C昭37B	(匿名)	M昭36A	佐竹 昭男	M昭57C	石井 龍一	E昭41A	桑田 泓	定M昭42B	三澤 道夫
C昭38B	佐藤(織田澤)斐子	M昭36A	齋藤 弘	M昭63C	(匿名)	E昭41A	原 和夫	定M昭43B	中村 正夫
C昭38B	高橋 武臣	M昭36B	大川 富夫	M平2A	栗崎 彰二	E昭41A	布施 敏雄	定M昭43B	松戸 操
C昭38B	田山 幸雄	M昭36B	大野 繁樹	E M平3A	寺島 浩史	E昭41A	藤巻 秀明	定M昭45A	(匿名)
C昭39A	岡沢 雅郎	M昭36C	木村 欣一	E M平5A	大平 憲秋	E昭41C	中村 実	定M昭50B	板倉 洋
C昭39B	大塚 健司	M昭37A	川澄 武甫	E M平12A	(匿名)	E昭42A	長嶋 孝雄	定M昭55B	高梨 正美
C昭39B	斎藤 勝弘	M昭37A	篠崎 三郎	E M平13A	加藤 貴士	E昭42B	鈴木(伊藤)晶蔵	E昭36B	溝口 均
C昭39B	土屋 正一	M昭37A	平松 章宏	E昭16②	内田 之光	E昭42C	小川 富美夫		
C昭39B	(匿名)	M昭37A	若月 忠良	E昭18	高浜 和夫	E昭42C	高橋 秀典		
C昭40A	石橋 暁	M昭37C	石田 忍	E昭24	佐藤 勇吉	E昭42C	中村 信夫		
C昭40A	立川 嘉宣	M昭37C	永野(岩沢)勇	E昭24	石井 進	E昭42C	橋本 勇		
C昭40A	茂呂田 智郎	M昭37C	篠崎 征男	E昭25A	飯沼 敏治	E昭42C	百沢 一朗		
C昭41B	高澤 由行	M昭37C	芝山 勲	E昭25C	山本 正勝	E昭42C	木山 幸助		
C昭42A	宮崎 一雄	M昭37C	日暮 和男	E昭26B	千脇 傳吾	E昭43A	秋庭 勝男		
C昭44A	高梨 富美夫	M昭38A	市川 新一	E昭28A	今井(大塚)栄	E昭43B	大野 孝		
C昭46B	吉原 茂	M昭38A	中村 勇三郎	E昭28B	江口 茂樹	E昭43C	(匿名)		
C昭51A	黒石 高喜	M昭38A	林 孝二	E昭28B	大野 清伍	E昭43C	高坂 英二		
C昭51B	上森 健二	M昭38A	山田 勝芳	E昭28B	工藤 轟	E昭44B	高橋(嶋)公男		
C昭57B	真下 房雄	M昭38B	小倉 孝雄	E昭28C	山田 俊雄	E昭44B	大海 義夫		
C昭61B	飯高 具孝	M昭38B	金子 衛	E昭28C	渡邊 暢彌	E昭44C	佐藤 和美		
C昭62B	(匿名)	M昭38B	半沢 輝之	E昭29A	野溝(高橋)忠男	E昭44C	塚原 敏夫		
C平14	(匿名)	M昭38B	布施 茂勝	E昭30A	塚本 勝久	E昭44C	(匿名)		

「同窓会寄付金」のお願い

- ・「同窓会寄付金」にご賛同いただける方は、一口1000円 合計金額を『払込取扱票の金額欄』にご記入しお振込みください。寄付金の受付は、いつでも何口でも歓迎します。
- ・同窓会報に寄付金者名を掲載させていただきます。なお、匿名希望の方は、『匿名希望に〇印』をしてください。

ゆうちょ銀行または郵便局 口座記号番号 00150=4=93262 (振込用紙 赤色)

振込手数料は同窓会本部で負担します。

★令和4年1月17日より、郵便局から現金で振り込む場合、料金(110円)が払込人様負担として加算されるようになりました。但し、ゆうちょ銀行の口座から通帳・カードで支払う場合は負担金は不要です。

「2023年 千葉工業同窓祭(第38回)」中止

新型コロナウイルスにより「2022年 千葉工業同窓祭(37回)」は止む無く中止になりました。日本国内では「コロナワクチン接種」「手洗い」「マスク着用」「換気」及び「3密回避」等で減少傾向が見られます。

しかしながら、世界では「感染者が増えた分だけ変異株も出やすくなる」との知見どおり、次々と変異株が出現しています。2022年にデルタ株から感染力の強いオミクロン株に代わり、夏場にかけては、感染力がさらに強いBA.5に置き換わり、11月にはさらに新たな変異株が出現し、国内でも警戒感はさらに高まっていくでしょう。

このため、「2023年 千葉工業同窓祭(第38回)」は、中止させていただくことになりました。私たちはコロナウイルスとの共存で感染予防策を徹底し、できるだけ早い時期の再会を願いつつ、前向きに行動を開始しましょう。

『千葉工業同窓会幹事会』のお知らせ

2年に1回開催する「幹事会」を開催します。

常任幹事、幹事(各クラスから選出、各地域支部から推薦)は、ご参集願います。

●日時：2023年5月20日(土) 14:00

●会場：千工会館

●議事：会務報告 会務計画 他

同窓会報 会報原稿募集

会報も回を重ね情報交換や親睦を確かめあう機関紙として定着してまいりました。これもひとえに会員各位のご協力の賜物と深く感謝いたします。毎年、下記の内容・日程で原稿を募集します。

会員の皆様に楽しんで戴けるようバラエティーに富んだ編集を目指しております。どしどしご投稿ください。

1. 募集内容 ●母校の様子(新しい施設設備・クラブ活動等)、会報の表紙を飾るにふさわしい母校に関連する写真
●回顧録(在学中の思い出、旧友の素顔、名物教師等々)随想、紀行、詩、俳句、短歌、論説、絵画、写真
●支部総会、支部のトピックス、同級会、国・都道府県・各種団体による表彰、テレビ、新聞で紹介写真等を添えて頂ければ幸いです。

2. 会報は、会員全員のものです。編集についてのご意見やご要望も事務局へお寄せください。

●投稿締切▶毎年8月末日 ●発行予定▶毎年3月1日 原稿送付先は下記まで

◆編集後記◆

昨年は、ロシアのウクライナ侵攻により、世界が分断され、エネルギー危機、食糧危機などが顕在化した大変な年になりました。

編集委員長 遠藤清司(C昭41 北総)、比連崎正幸(M昭60 南総)、伊藤洋一(特M昭56 市原市)、藤川幸雄(E昭37 千葉市)、香焼正利(E昭38 外房)、興松孝夫(M昭43 京葉)、金子賢二(M昭34 東葛)の皆さんと編集しました。【遠藤 記】

題字 安藤 信吉(M昭20)

千葉工業同窓会報

第34号

発行日 令和5年3月1日

発行者 千葉工業同窓会 会長 布施 敏雄

事務局 〒260-0815 千葉市中央区今井町1478
千葉県立千葉工業高等学校内

TEL043-264-6251 FAX043-268-5524

印刷 株式会社千都